

FMF MTP テレビ会議

2002年度 FMF MTP を締めくくる日米両校による「プロジェクト報告会」が、インターネット(CUSeeMe)を活用したテレビ会議によって開催されました(H15.2.16)。9月以降、5回にわたる接続試験を繰り返し、途中、アメリカの国際教育週間2002(11月18～22日)にも参加し、この日を迎えることができました。

この日米交流を契機として、両校は姉妹校提携する運びとなり、報告会に先立ち、両校校長が、スクリーンを通じて、今後も益々両校が親交を深めていくことを英語と日本語を交えながら確認し合った。

なお、報告会の詳細は、次の要項内のリンクをご覧ください。



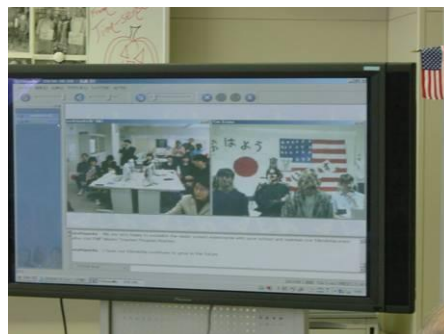
要 項

- 日 時 平成15年2月16日(日) 午前8時30分～10時
場 所 本校 3F CALL教室 (M306)
内 容 (1)両校校長挨拶 …… 島校長 Groesbeck校長
(2)プロジェクト報告① …… 本校生徒
(3)プロジェクト報告② …… HIES生徒
参加者 本校 島校長, 青塚教頭, 宮浦教頭
中村・奥井・尾崎・小野・広川・濱野・千葉先生
生物部・メディア局・JAC局所属生徒(16名)
HIES Sue Groesbeck 校長
Carol Hahn, Debbie Temple, Tim Evans 先生
HIES生徒(4名)
その他 報道関係 北海道通信社, 北海道新聞社



CUSeeMe：校内ランのホストコンピューターから、札幌市教育委員会の光ケーブル網のホストコンピューターを通り、東京のGLOCOMサーバーへ接続して、アメリカのHIESとCUSeeMeによりテレビ会議を行った。

使用機器：ノートパソコン(2台, Omni Book XE₃, ヒューレット パッカー社製), CCDカメラ(i-Cam USB CCD Color Camera, 35万画素, アスメック社製), マルチメディアマイクロホン(MM-MC5, サンワサプライ社製), プラスマディスプレイ(50インチ, 1台), CALL教室音響設備(壁掛けスピーカー, アンプ, ミキサー等), CUSeeMeソフト(Windows版)



国際教育週間：

コミュニケーション！ 札幌旭丘高校でテレビ会議 米国の学校と英語で交流

原稿：「北海道通信」より、

札幌旭丘高校（島隆校長）は、23日、米国のホーリーイノセントエписコパル校と、インターネットを利用したオンラインテレビ会議を行った。アメリカの国際教育週間2002（18～22日）の一環として行われたもの。生徒は画面を通して初めて顔をあわせたメール友達に、英語を使って自己紹介。積極的にコミュニケーションを図り、画面に向かって笑顔で手を振る姿も見られた。

両校は本年度、日米教育委員会運営のFMF（フルブライトメモリアル基金）

によるMTPのパートナー校に指定され、交流を続けている。MTPは、日米の小・



中・高等学校の児童・生徒・教師が、共同で地球規模の環境について調査・学習するプログラム。旭丘高はエゾシロチョウの生態調査に取り組んでいるほか、札幌市内では、緑丘小と宮の森中が選定され、アメリカの学校と共同研究を進めている。教師同士の学校訪問のほか、生徒同士のメール交換などを通してお互いの情報を交換。7月には米国の教師が日本を訪問しており、札幌・岐阜・広島をつないでテレビ

会議を行った。

今回のテレビ会議は東京とアメリカ、旭丘高の三ヶ所をつないで行われた。参加者は生物部やメディア部の生徒11人と緑丘小、宮の森中、旭丘高の教諭11人。画面にアメリカの生徒が映ると、参加した生徒や教師は歓声とともに、大きく手を振った。自己紹介では全員が用意した名前を書いたカードを手に持ち、英語で趣味や部活動などについて話した。

そのあと、旭丘高校の調査の進行状況について、代表者が英語で説明。「英語版のホームページを作ったので見てください」と呼びかけると、「こちらも昆虫採集を行い、ホームページも作成しているところです」との応答があり、チャットなどを利用したやりとりも行われていた。



北海道新聞より：

札幌旭丘高、米の学校とネット会議 動物の生態系研究を報告 【写真】 2003・02・17

札幌旭丘高校（札幌市中央区）の生徒が十六日、米ジョージア州アトランタにある小中高一貫校、ホーリー・イノセント・エписコパル（HIES）校の高等部の生徒との間で、動物の生態系を主テーマとするインターネット会議を開いた。

札幌旭丘高は本年度、日米の小中高生が環境問題を調べる教育プログラム（フルブライトメモリアル基金主催）に近くの緑丘小、宮の森中と参加し、生物部員を中心に、国内では北海道にだけ生息するエゾシロチョウの耐寒性などの研究を進めてきた。

今回の会議は研究成果発表の場。生徒と教諭四十人ほどが特別教室に集まり、インターネットにつないだパソコンの画面をスクリーンに映し出した。研究グループはドライアイスを入れた容器にエゾシロチョウの幼虫と他の昆虫を入れて凍らせた実験の経過を英語で説明。途中、音声途切れることもあったが、日本側の報告に米国側からねぎらいの大きな拍手が寄せられた。両校は三月に姉妹校提携する予定で、一年生の撫養（むや）大輔君（16）は「これからも電子メールで交流を続けたい」と話している。

<写真：研究結果をパソコンを使って報告する札幌旭丘高の生徒たち>

北海道通信より：

海越えネットで交流 アメリカの学校と札幌旭丘高 2003・2・19

札幌旭丘高校（島隆校長）は16日、インターネットを活用したアメリカ・ホーリーイノセントエписコパル校（HIES）とのオンライン会議を実施した。両校の生徒が調査を続けてきた研究成果をネット上で発表。終了後は、双方の生徒が画面上であいさつや日常会話を交わすなど、交流を深めていた。

このオンライン会議は、フルブライトメモリアル基金（FMF）が行うマスターティーチャープログラム（MTP）の中で行ったもの。両校はこれまで、メールなどを通じてそれぞれの研究課題について情報などの交流を深化。今回の交流活動を契機に両校は、来月中に姉妹校提携を締結する運びとなっている。

会議では、旭丘高校の島校長、HIESのグロスベック校長がそれぞれあいさつを交わし、姉妹校提携を新たな出発点とした両校の交流の深まりに期待を寄せた。

このあと研究成果の発表に移り、両校の生徒がネットを介して画像と音声の両方を用いて研究内容を紹介。

HIESの生徒が日本のカプトムシや学校周辺の水辺の生態などについての調査結果などを披露したのに対し、旭丘高校の生徒は、エゾシロチョウの生態系やキタキツネと人間とのかかわりなどについて、英語で報告した。

MTPによる交流は実質的に今回が最後の交流となった。旭丘高校の島校長は「プログラム自体は今回で終わるが、HIESとの交流は、姉妹校として新たにスタートする」と話しており、来年度以降、生徒や教師など人的な交流を軸に積極的な交流活動を展開していく考えだ。

姉妹校提携：平成15年3月28日(金)、テレビ会議により両校の校長、生徒会長が参加し、提携を結んだ。



CALL教室にて：平成13年度夏に完成した新校舎に設けられた語学実習室。教師用のホストコンピューターに生徒用パソコン20台が接続されており、米国人の英語教師による専門的な指導を受けながら、最新の語学実習ができる。

島校長挨拶：

Hello. Nice to meet you.

I'm Takashi Shima, Principal of Asahigaoka High School.

I'd like to congratulate all of you for the success of this project.

Today's conference is the last conference. But this is also another beginning.

Dr. Groesbeck, I'd like to thank you for accepting the invitation to become our sister school.

We are very happy to establish the sister school relationship with your school and maintain our friendship even after this FMF Master Teacher Program finishes.

I hope our friendship continues to grow in the future.

Thank you.

